家庭科の授業プラン（50分授業）

科目 : 家庭基礎　　　　単元 : 消費生活（経済生活とライフプラン）

授業展開例　《50分》

目標

・人生すごろくを通じ、人生には様々なリスクがあることを知る。

・貯蓄や社会保険だけでは対応できないリスクに備え、民間保険があることを知る。

・リスクには民間保険を利用した備えが必要であることを知る。

* 前提として、家計の管理（給与明細含む）、社会保険に関する説明が終わっていることとする。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 活動内容 | 留意点 | 使用教材 |
| 導入  ８分 | ●先に学んだ家計の管理、社会保険について復習　　　　【４分】  具体例：健康保険とは？  発問：「病気で受診したとき、医療費を何割負担する？」  ・自己負担が少なくてすむことを確認  ・人生のライフプランにおけるリスクとは、経済的な損失を被ることだと説明  ・貯蓄の重要性を確認し、同時に貯蓄だけ  で足りるか問いかける  ●パワーポイントの図「貯金は三角、保険  は四角」を説明【４分】  ・保険の意味を確認 | ・社会保険は原則強制加入、保険料だけでなく税金も投入されていることを確認させる  ・貯蓄だけでは不十分だ  と気づかせる  ・貯蓄と保険の違いを理解させる | パワーポイント  「貯金は三角、保険は  四角」  ＊ または、  動画「保険の役割」を視聴（4：39まで） |
| 展開  ❶５分  ❷６分  ❸６分  ❹16分  ❺ 5分 | ❶「自分のライフプランを『人生すごろく』にしてみましょう」と提案（個人ワーク）  ・何をしたいかフローチャート状に描か  せ、その中に、起こりうるリスクを３  つ入れるよう指示  ❷班に分かれて、どのようなリスクがある  かあげていくよう指示（グループワーク）  ❸テキスト「明るい未来へTRY」を配布  ・どのようなリスクが保険で保障（補償）されるか、自分たちのあげたリスクはどうか、冊子の資料編で確認し理解を深める  ❹「友だちと海外旅行に行きたい！」（ケーススタディ）　※テーマはあくまで例  ・どのようなリスクがあるかあげさせる  ・「みんなが考えたリスクと『見逃せないリスク』を比べてみましょう。」  ・「Workをやって、保険がどのようなものか確認してみましょう」と声がけをする  　・テキストのWorkと答え合わせ  ❺社会保険と民間保険の違いを再確認  ・貯蓄と社会保険だけで対応できないリスクに、民間保険で備えることもできると説明 | ・どのようなリスクがある  か考えさせる  ・スタートは「高校卒業」  とし、このような感じで  描くという見本を示すと  取り掛かりやすい  ・グループで情報を共有  ・教師がテーマごとに板書  ・資料編の内容の探し方を  アドバイスする  ・予想していなかったリス  クに気づかせる  ・保険に入っていると助け  られる場合があることに  気づかせる  ・民間保険の必要性に気づかせる  ・気候災害の増加をヒントにあげてもよい | ＊各自コンピュータやタブレット端末のアプリを使用させる  ＊用紙を配布し、ライフイベントやリスクを○で囲み矢印でつないでもよい  冊子「明るい未来へ  TRY」p 30〜資料編  「保険金が支払われるケースと支払われないケース」  ・パワーポイント  「友だちと海外旅行に行きたい！」  ・冊子p25  「見逃せないリスクとは？」  ・Work  ・テキストp16  ・動画「社会保険と民間保険編」  （3：44〜）  ・Work p17 |
| まとめ  ４分 | ・損害保険で備えることは、万が一の時の助けになることを確認  ・自分に必要な保険は何か、よく考えることが必要だと理解させる  ・ワークシートなどに、本時で感じたことを  記入し提出 | ・ワークシートなど  （人生すごろくの余白に  書かせてもよい） |  |